

LEQ 集団活動プログラム《絵画》

タイトル	絵画
大ジャンル：	制作
中ジャンル：	表現
小ジャンル：	お絵かき
使う道具：	色鉛筆・画用紙
場所	室内
人数	1-9
内容	季節に応じたお題に沿った絵を描く想像力・表現力の向上を図るプログラム

5 領域

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
		○	○	○

【 流れ（20分） 】

時間	内容	児童の予想される行動	支援員の動き
00:00	<p>活動の始まりの挨拶 挨拶時は正座 「今から活動を始めます。礼。」</p> <p>活動の内容説明 絵画の「テーマ」を発表する。</p> <p>画用紙と色鉛筆を配る。テーマのものを描いてもらう</p>	<p>挨拶時の正座ができているか。</p> <p>説明中に色鉛筆や画用紙を触ったりすることはないか</p>	<p>正座をしていない場合は正座をするように声を掛ける。</p> <p>説明中は色鉛筆や画用紙は触らないように注意をする。</p>
05:00	<p>絵画を制作する</p> <p>終わったり間違えてしまった場合等はもう一枚新しく書く</p>	<p>私語をしたり手を止めて遊んだり寝転んでいないか</p> <p>横の児童や後ろの児童としゃべっていたりしていないか</p>	<p>書き終えた児童の画用紙をもらい新しい画用紙を渡す。（時間がもう残り少ない場合は座って片付けなどを始めてもらうように声を掛けることもある）</p> <p>私語や遊んでいる児童には声を掛けて時間までは</p>

			活動をしてもらうように促す。
17:00	書いている絵も途中で中断して、みんなの描いた絵を発表、感想まとめ。	手を止めずに絵を書き続けていないか。 色鉛筆等を触っている 私語をしていないか。姿勢が維持されているか。	活動後に続きを行いたい場合は帰りの会の時間までは続きを行えることを伝える。 色鉛筆は活動後に回収するので、終わるまではそのままにしておいて良いと声を掛ける 他の児童やスタッフが話している間は聞くように声を掛ける。 立ったり寝転んだり机に寄りかかっていたりしている場合はきちんと座るように声を掛ける
20:00	活動終了の挨拶 挨拶時は正座 「これで活動を終わります。礼。」 色鉛筆の回収 スタッフのところまで持ってきてもらう。 続きを行う児童はそのまま続きを行ってもらう。	正座ができていないか。 手を止めずに色鉛筆を触っていたりかたづけようとしていないか	正座ができていないのを確認して挨拶。 正座ができていなかったり、色鉛筆を触っていた場合は声を掛ける。

【実施のポイント】

- ・ 児童の興味を引き立てるようなお題やわかりやすいお題を設定する
→ 難しすぎるお題は児童のやる気や想像力を削いでしまう可能性があるため控える。興味関心のあるお題で想像力や表現力を引き上げるようにする
- ・ 児童の興味関心を高められるような声かけをする。
→ 活動へのモチベーションの維持を行えるようにする。

【アレンジパターン】

- 1、お題のテーマを数パターン作りどれかを選んで描いてもらう
多数のテーマがあることで子どもたちの興味関心をより高める
- 2、3つの中から好きな番号選びそこから多数決で決める
テーマ決めて子どもたちの士気を高め、想像力を高める

3, 絵の具を使って絵画を行う
十分に時間が確保できるときに行う。